

修景ゾーン

「唯心山」に見立て、既存設備を隠しながら立体的なランドスケープとなる築山を整備
「桜林」「梅林」「千入の森」「二色が丘」の見立てとなる修景ゾーンの植栽デザイン

- ・ 修景ゾーンの既存の給排気塔は、特徴的な形状を活かしたデザインによって、駅前広場のランドマークとして整備
- ・ 季節のたのしみをもたらす色とりどりの〈囃〉の植栽と、年間を通した緑のイメージを確保する常緑の〈地〉の植栽による四季折々の散策を楽しめる植栽デザイン
- ・ 夜にはライトアップすることで、印象的な岡山駅前の夜景を演出



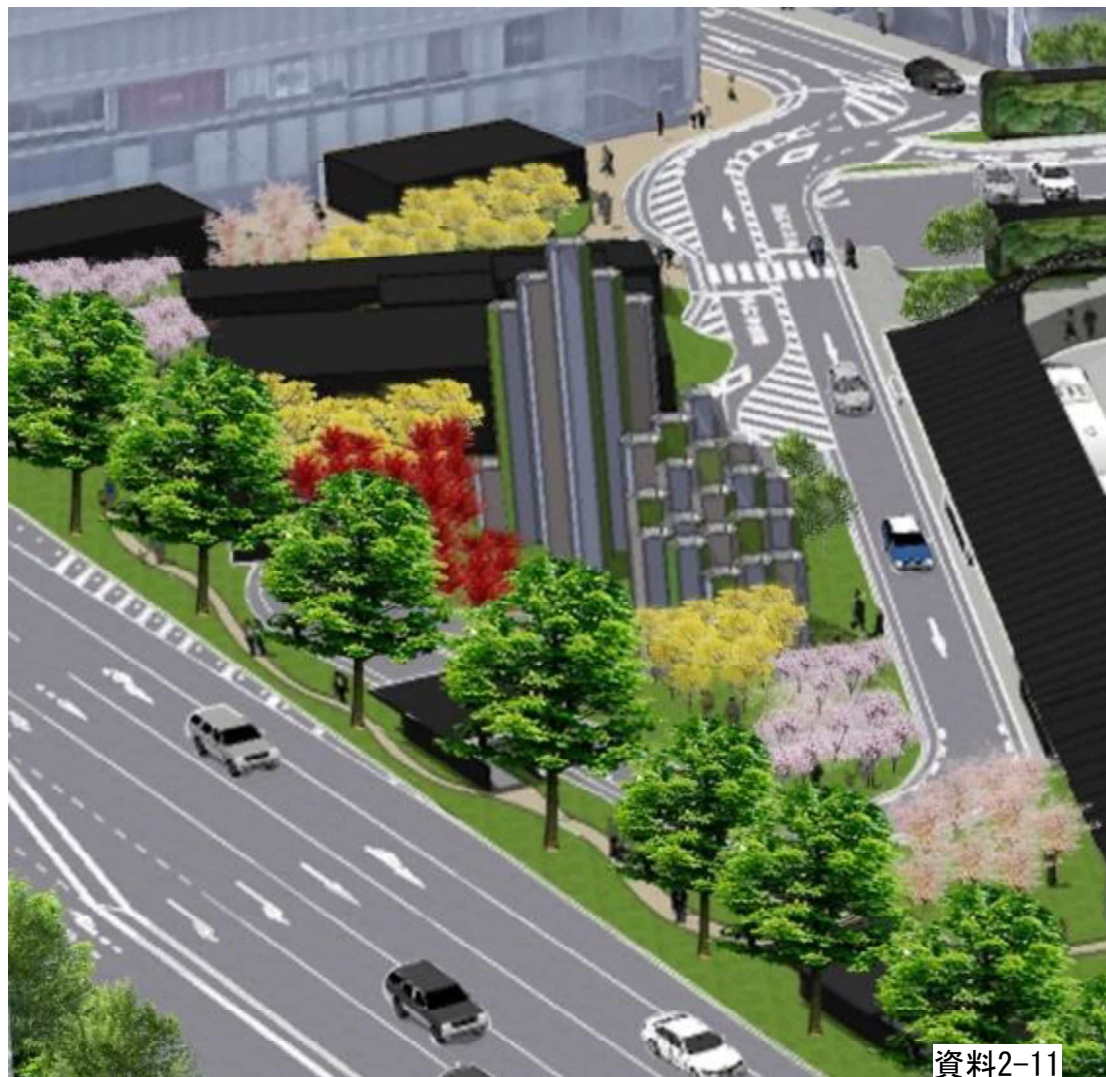
唯心山



梅林



千入の森



資料2-11

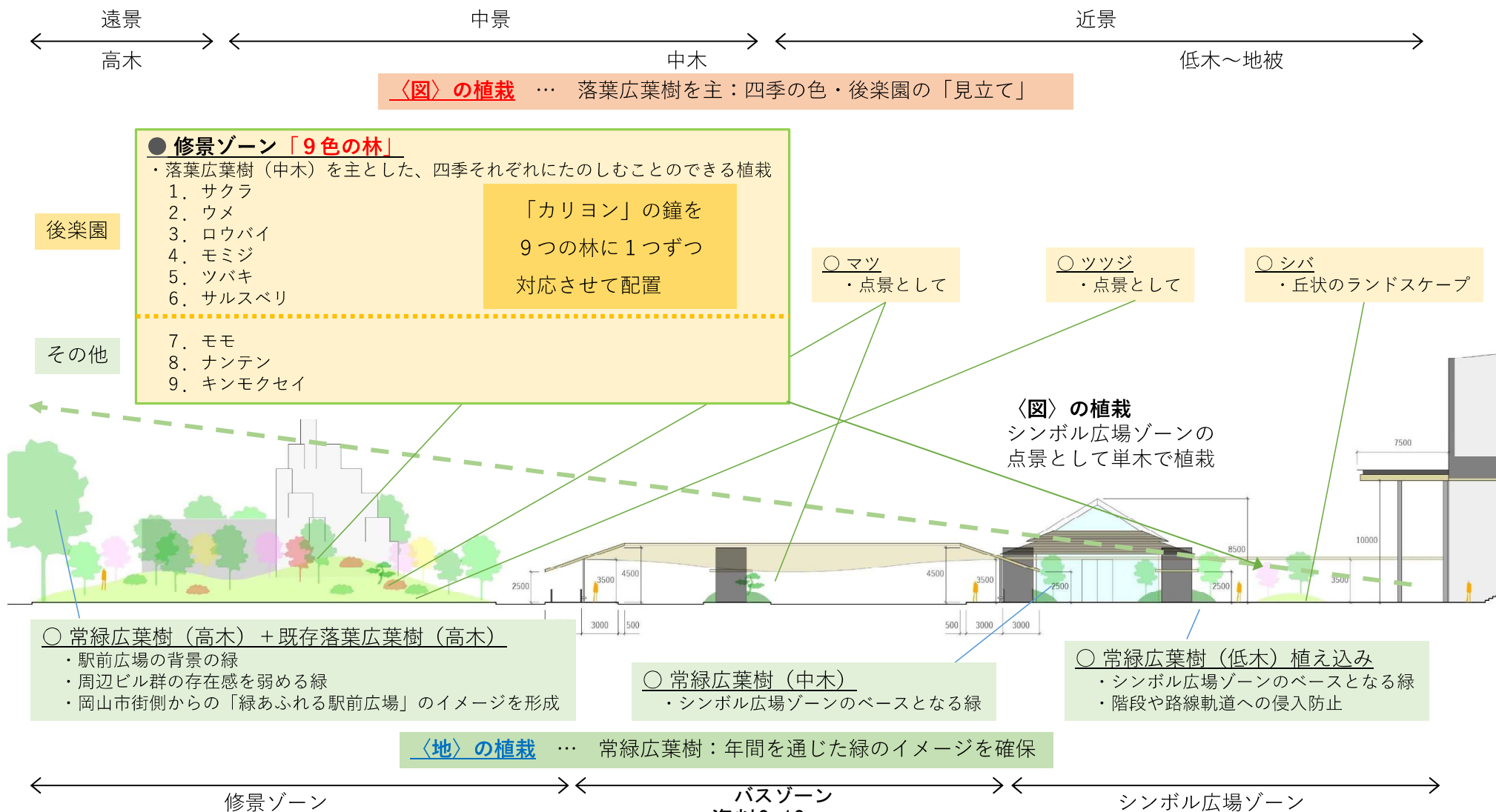


夜景

植栽デザイン

「桜林」「梅林」「千入の森」「二色が丘」の見立てとなる修景ゾーンの植栽デザイン、年間を通して緑のイメージを確保し、一年中どこかに見所があるランドスケープ

- ・季節のたのしみをもたらす色とりどりの<図>の植栽と、年間を通じた緑のイメージを確保する常緑の<地>の植栽によるデザイン
 - ・駅前広場の起点となるJR駅舎側から岡山市街へと向かう、<近景～中景～遠景>によるランドスケープデザイン
 - ・修景ゾーンは、<図>の植栽による9色の林をデザインし、一年中どこかに見どころがあるランドスケープデザイン
 - ・「カリヨン」は、9つの鐘を、修景ゾーンの9色の林に対応させて1つずつ分散して配置するデザイン
- これまでのカリヨンの1点から放射するサウンドスケープから、立体的な音に包まれる、修景ゾーン全体が奏でるサラウンドなサウンドスケープ



4. 動線・案内について

・デザインの統一（東口駅前広場、西口駅前広場、東西連絡通路、駅地下街）



- ・ 基調色はダークグレー
- ・ シンプルで厚みの薄い洗練された案内板
- ・ ピクトを活用した、分かりやすい案内デザイン

・案内サインの種類の整理

- ・ 広場としての広がりや視線の妨げとならない ⇒ 路面から自立する独立タイプの案内サインは極力避ける
- ・ 既存の壁面や、整備する上屋などと一体的にデザイン ⇒ 壁面添架、屋根吊り下げ、路面標示



壁面添架



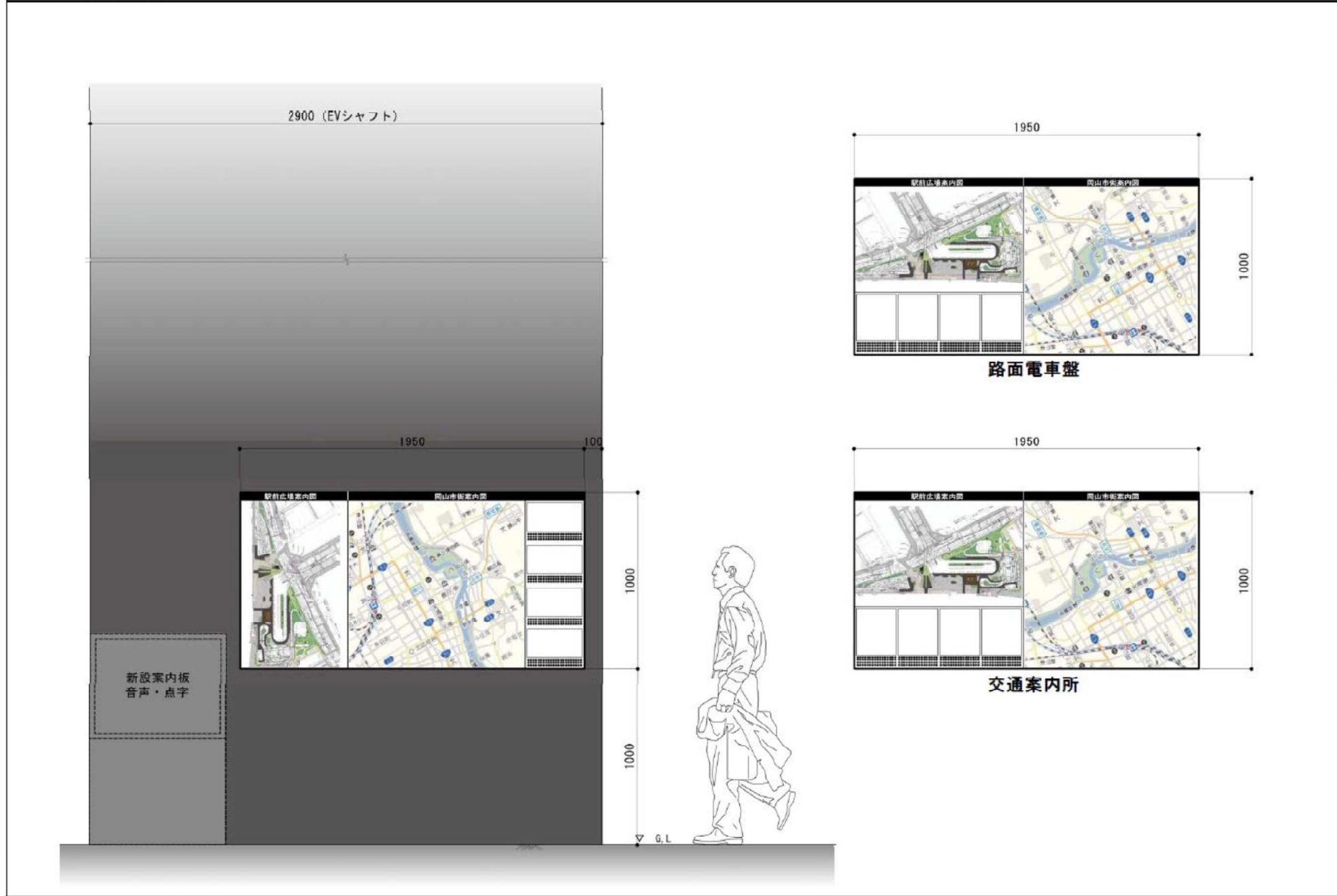
屋根吊り下げ



路面表示

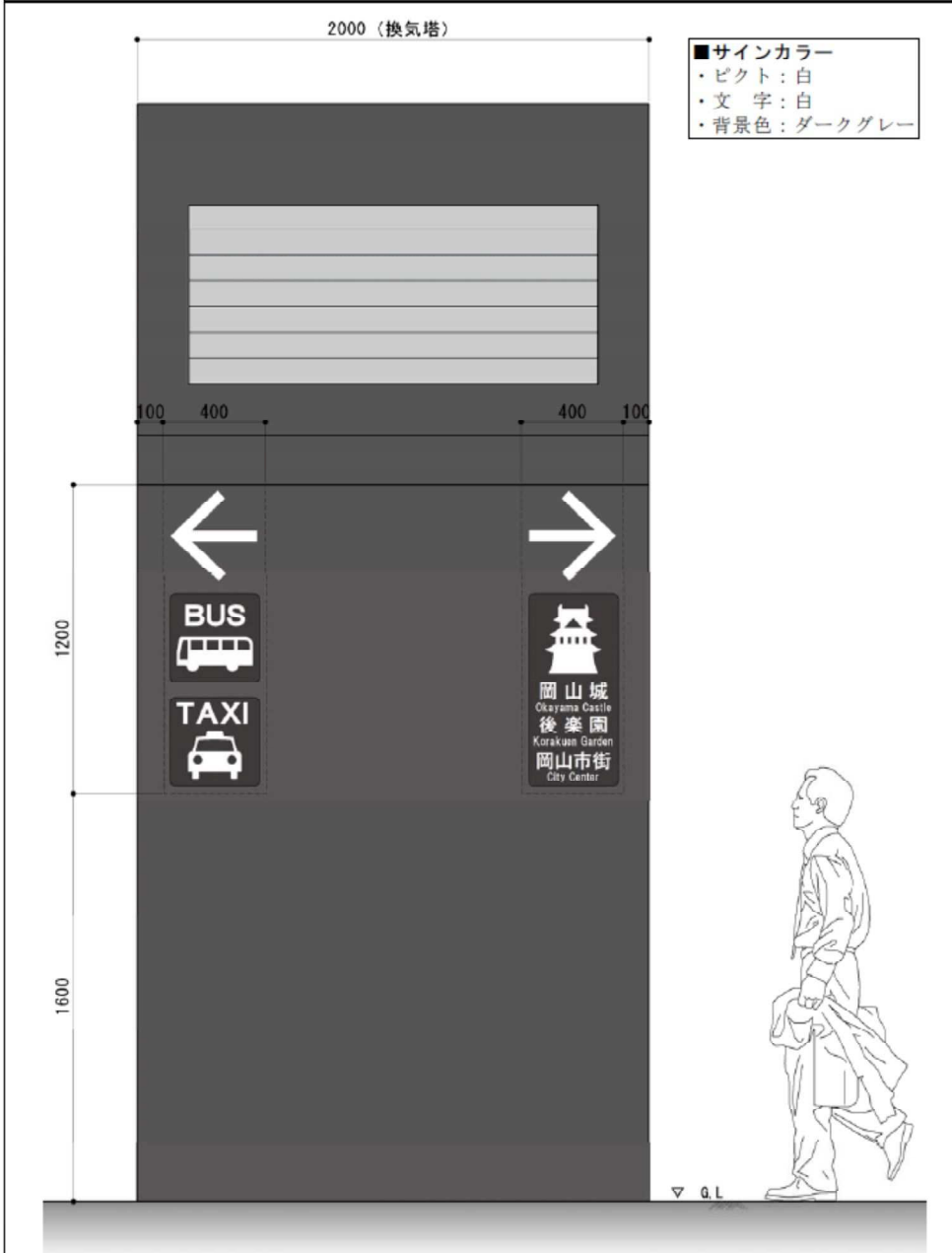
サインデザイン案

A : 総合案内サイン

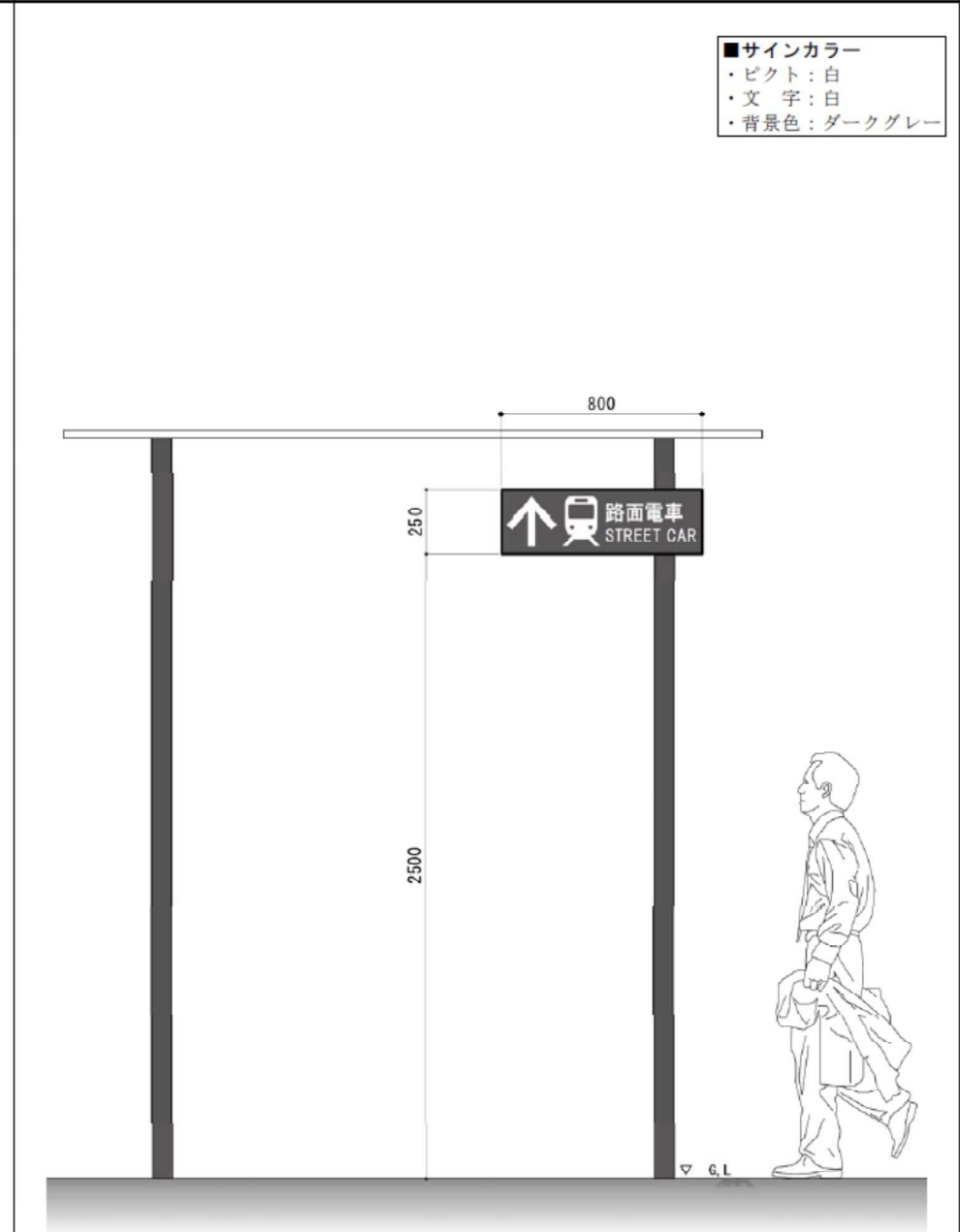


B : 誘導サイン

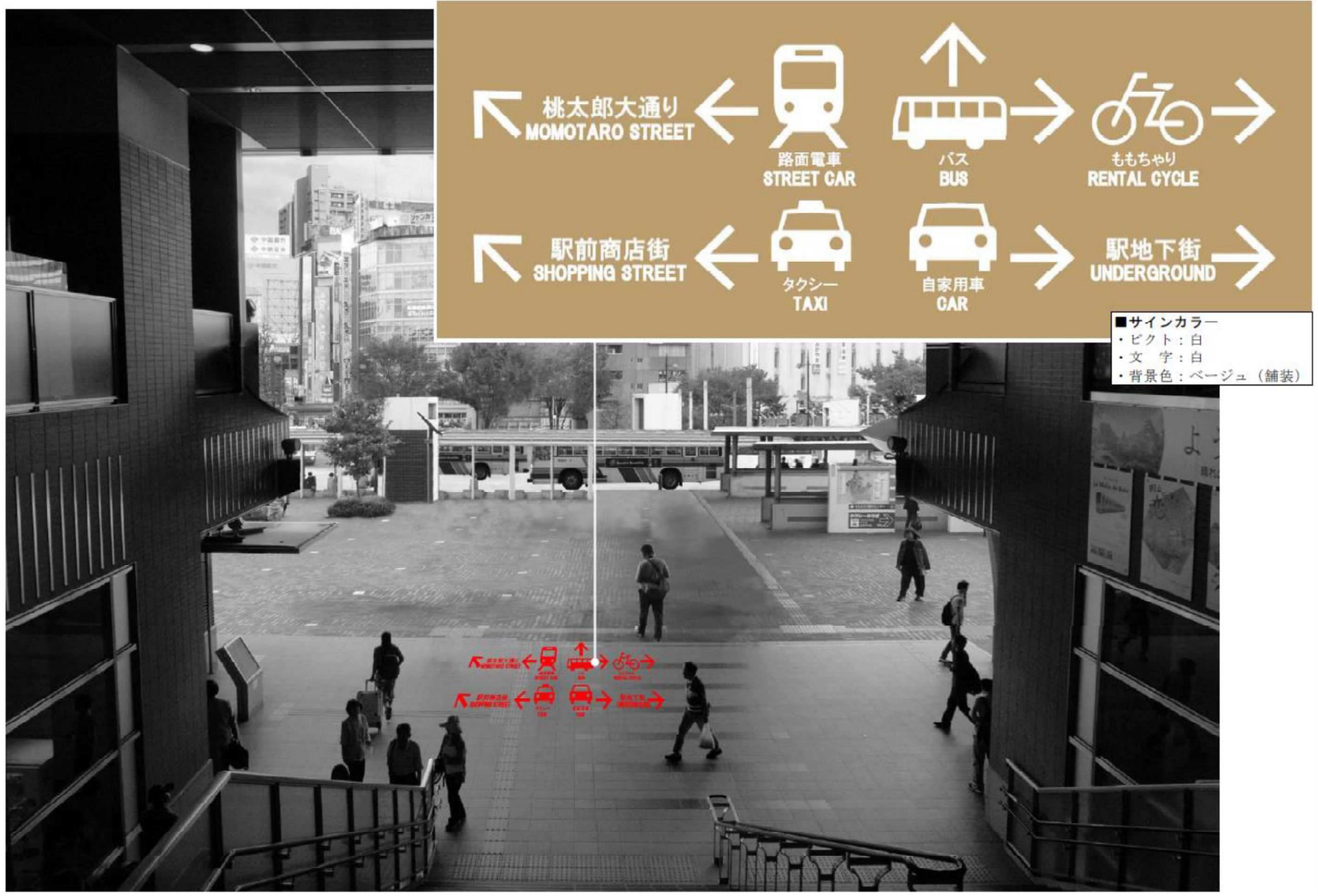
B-1 : 壁面添架タイプ



B-2 : 柱添架タイプ

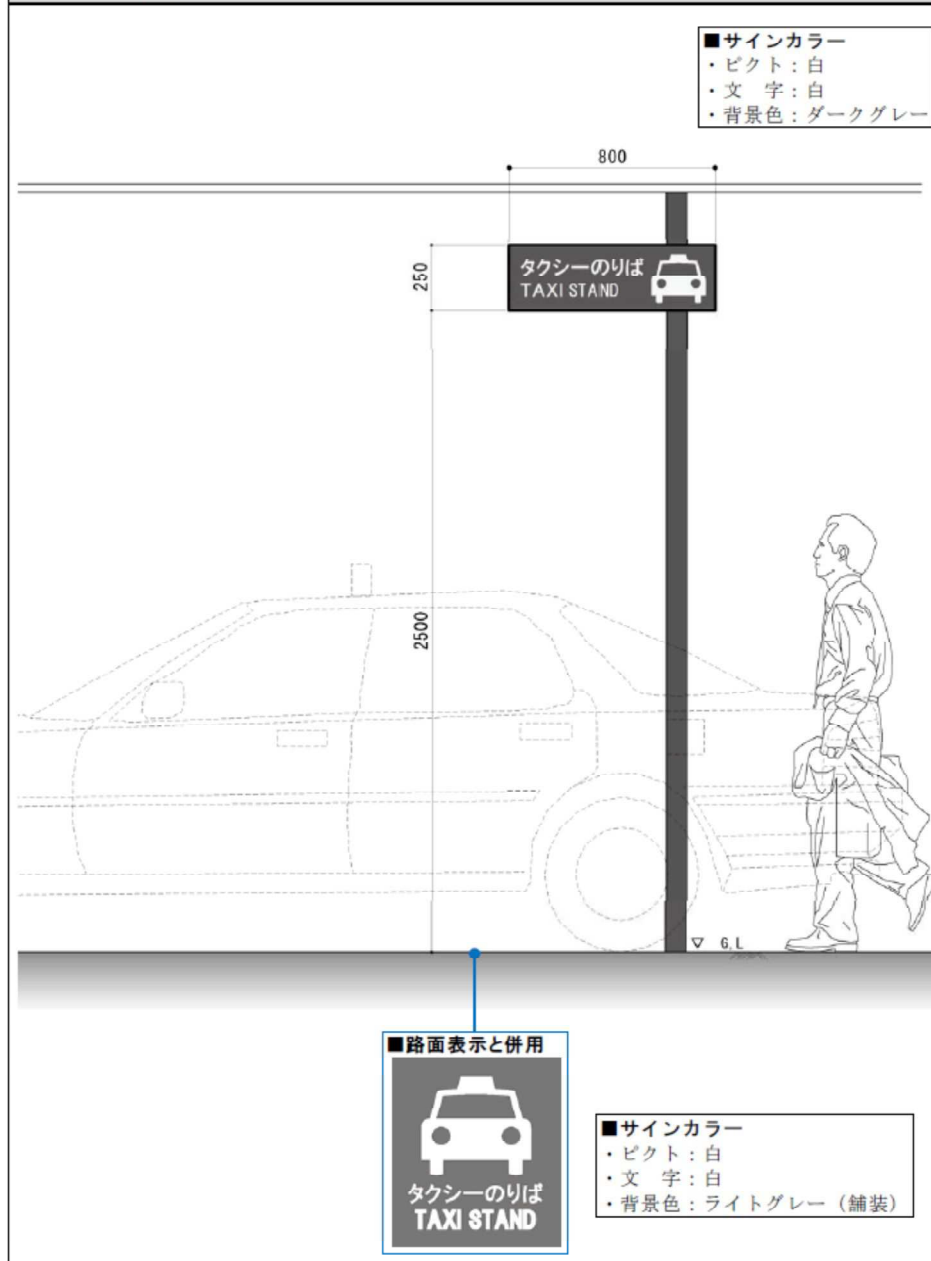


B : 誘導サイン
B-3 : 路面表示タイプ



C : 定点サイン

C-1 : 柱添架タイプ



C-2 : 壁面添架タイプ

